

SNM (仙骨神経刺激療法) とは?

排泄に関係する神経に持続的に電気刺激を与えることによって、過活動膀胱の症状の改善を図る治療方法です。



- 持続的に電気刺激を行うため、心臓ペースメーカーのような装置を体内に植込みます。
- 欧米では1990年代から行われており、日本でも2017年9月から健康保険が適用されています。

このような治療方法です

1 リード (刺激電極) の挿入

まず治療効果を確認するために、リードだけをおしりの仙骨にゆっくりと挿入します。大きな切開は行いませんが、手術室で麻酔をかけて行います。

2 試験刺激

挿入したリードと体外式の刺激装置を接続して、1~2週間試験的に刺激を行い、治療効果を判定します。もし、効果が認められない場合は、刺激装置の植込みは行わずリードを抜去します。

3 刺激装置の植込み

試験刺激により治療の効果が認められた場合は、すでに挿入されているリードを刺激装置に接続した後、おしりのふくらみ上部に植込みます。

SNM (仙骨神経刺激療法) の特徴

- 刺激装置を植込む前に、試験刺激で効果を確認されます。
- 効果が認められない場合にはリードを抜いて、以前の状態に戻すことができます。
- 刺激装置の植込み後は、刺激の調整をご自身でコントロールできます。

使用する機器

1. リード (刺激電極)

排泄に関係する仙骨神経に電気刺激を行います。

2. 刺激装置

治療用の電気刺激を発生します。おしりのふくらみ上部に植込みます。

3. 患者用プログラマ

衣服の上から刺激装置の調整を行うことができます。

